放射線を正しく理解した看護職であるために

改訂版 看護と放射線 正誤表

(2024年2月1日現在)

【対象:「2021年3月12日発行」の改訂版をお持ちの方】(「2024年3月1日発行 改訂版2刷」では対応済)

修正箇所		誤	Œ
4 頁	表 1.2 種類「X線」の発生源	高電圧(数 10~数 10 kV)	高電圧(数 10 kV~数 10 MV)
5	表 1.3 「テクネチウム-99m (Tc- 99m)」の「壊変の形式と放出され る放射線」	β ⁻ 壊変:β線,γ線 (追加)	IT, β ⁻ 壊変:β線, γ線
	表 1.3 欄外 の " β 壊変"と" α 壊変"の間	(追加)	IT(核異性体転移): 原子核が γ 線を放出して別のエネルギーレベルに移る。
8	表 1.4 タイトル	(年間 mSv/年)	(mSv/年)
14	下から7行目	患者や患者家族など(追加)	患者や患者家族など(<mark>医療被ばく)</mark>
17	コラム7 下から7行目	研修情報などの…	情報などの…
38	下から2行目~最終行	基準をコラムに示す。(追加)	基準をコラム 15 に示す。
39	コラム 15 表「グレード 4」	緊急処置を要とする。	緊急処置を必要とする。
41	下から 12 行目	永久刺入治療受けた…	永久刺入治療 <mark>を</mark> 受けた…
45	最終行	(TENORM) (追加)	(TENORM:コラム9)
64	下から 15 行目	体内量からの摂取量…	体内量 <mark>から</mark> 摂取量···
	図 6.2 組織反応の説明	しきい線量を越えて被ばく…	しきい線量を <mark>超えて</mark> 被ばく…
70	図 6.2 確率的影響の説明と縦軸	しきい値が存在せず、…影響の 発生確率が増加する。	しきい <mark>線量</mark> が存在せず、…影響の 発生 <mark>頻度</mark> が増加する。
		人	発生頻度(%)
72	表 6.2 「胎児 (3~8 週齢)」の 「反応, 症状」の項目	(追加)	奇形
77	表 6.5	(表の差替え)	次ページに差替え表
86	図 7.2 ④の説明	④しきい値型	④しきい <mark>線量</mark> 型
103	上から 12~13 行目	(積算) したものが 内部被ばくの 線量 である。(追加)	(積算) したものが放射線防護上の 内部被ばく線量である。
143	図 2.1「トリウム系列」の壊変過程」 ²²⁴ Ra→ ²²⁰ Rn の壊変	α , β (β 削除)	E a Z
163	【参考:空間線量】表の項目	10 回照射の線量	10 回照射の <mark>空間</mark> 線量
173	実習2 上から9行目 2)①	吸入摂取より	吸入摂取により
173	実習 2 上から 15 行目 2) ③ *注	*甲状腺のヨウ素-131 の残留率は、…甲状腺の取込み率及びの半減期を考慮した…(追加)	*甲状腺のヨウ素-131 の残留率は, …甲状腺の取込み率及び物理的,生 物学的半減期を考慮した…

173	実習 2 上から 16 行目 3)	…下表に示す線量係数を用いて甲 状腺の預託等価線量(被ばく線	…下表に示す線量係数(吸入)を用いて甲状腺の預託等価線量及び預託
		量)及び預託実効線量…	実効線量・・・
174	表を列の一番上	(現在量) (削除)	
175	「用意するもの」 上から3行目	(RI 規制法対象外)(追加)	(放射能レベルが RI 規制法対象外)
175	「用意するもの」 上から5行目	密封線源(追加)	密封線源(放射能レベルが RI 規制法 対象外)

○77 頁【表 6.5 差替え】

表 6.5 胎芽、胎児の放射線影響(確定的影響)

胎児の障害	しき い 線量 (Gy)	障害が問題となる胎齢
奇形	0.1~0.2	3~8 週
IQの低下 (IQ 70以下)	1 *	8~15 週
重度の精神発達遅滞	1 *	8~15 週

ICRP Publ.84 を元に作成

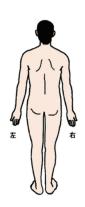
*被ばくした胎芽、胎児の40%に出現する可能性のある線量で、しきい線量でない。

〇170頁【記録用紙の変更】

測定結果

被検者	
測定年月日	
測定時間	
測定器の種類	
測定器番号	
BG(バックグラウンド)計数率(cpm)	
測定者名	
記録者名	





○174 頁【表の追加 (新規) (174 頁の現在の表の上に挿入)】

ヨウ素-131 の吸入による甲状腺の被ばく線量 (預託等価線量) の算出手順 (例:5歳児で吸入摂取日から10日経過)

正味の計数率 (表 7.1 測定結果の (A-B))	μ Sv/h
被検者の年齢	5 歳
ョウ素-131 の校正係数 (P173)	$23{,}450~\mathrm{Bq/[}\mu\mathrm{Sv/h]}$
測定時の甲状腺内のヨウ素-131 の量	Bq
吸入摂取した日から測定日までの経過時間	10 日
測定日のヨウ素-131 の甲状腺内の残留率	10 %
ョウ素-131 の摂取量(吸入)	Bq
ョウ素-131 吸入による甲状腺の預託等価線量	μ Sv

摂取した初日の1回摂取を仮定して預託等価線量を求める。